

2021年度 事業報告

1. 2021年度の会員の異動

(1) 入会 0社

(2) 退会 1社

会 員 名	住 所
株式会社 肉の大塚	熊本県熊本市東区戸島二丁目3番79号

(3) 会員数 41社 (2022年3月31日現在)

2. 2021年度家畜輸入状況 (会員実績)

(1) 畜種別輸入頭数

畜 種	年 度	2021年度	2020年度	2019年度
馬		3,214	3,107	4,325
牛		11,964	13,569	17,927
豚		1,057	1,523	1,205
緬山羊・鹿		19	23	16
その他の動物		0	0	0
合 計		16,254	18,222	23,473

(2) 用途別輸入頭数

畜 種	種類・用途	2021年度	2020年度	2019年度	
馬	軽種馬	繁殖用	180	148	122
		競走用	135	143	162
	軽種馬計	315	291	284	
	乗用馬	178	117	194	
	重種馬	0	0	0	
	肥育用素馬	2,718	2,699	3,843	
	と場直行馬	0	0	0	
	その他の馬	3	0	4	
	合 計	3,214	3,107	4,325	
牛	血統登録牛	乳用牛	0	0	10
		肉用牛	0	0	0
	血統登録牛計	0	0	10	
	その他の牛	乳用牛	687	0	3,156
		肉用牛	0	0	2
	その他の牛計	687	0	3,158	
	肥育用素牛	共同輸送船	11,277	13,569	14,759
		上記以外	0	0	0
肥育用素牛計	11,277	13,569	14,759		
と場直行牛	0	0	0		
	合 計	11,964	13,569	17,927	
豚	繁殖用豚	1,057	1,523	1,205	
	その他の豚	0	0	0	
	合 計	1,057	1,523	1,205	
緬山羊 山羊 鹿	繁殖用	19	23	16	
	その他の緬山羊・鹿	0	0	0	
	合 計	19	23	16	
	上記以外の大動物	0	0	0	
	上記以外の中動物	0	0	0	
	上記以外の小動物	0	0	0	
	総 合 計	16,254	18,222	23,473	

(注) その他の馬 (2021年度：重種馬搬用、2019年度：重種繁殖用)

緬山羊山羊鹿の繁殖用 (2021年度：緬山羊、2020年度・2019年度：山羊)

(3) 家畜の輸入検疫に係る受検計画の策定と家畜輸入をめぐる情勢

ア 年間収容計画の策定とその後の調整

計画の策定に際して係留施設の効率的利用を図るため、会員への希望調査の実施（多頭数輸送畜種対象）と状況を考慮した調整（実績率、時期・場所別収容想定等）を行い、2022年度に向けての希望総頭数23,565頭に対し収容計画頭数（2022年度当初）を23,878頭に設定した。

2021年度輸入においても計画変更及び新規希望への対応・調整のほか、繁殖豚では半年毎の希望調査を実施して計画の修正に反映した。

これらの計画策定と調整に際しては動物検疫所と緊密に連絡を取りつつ、円滑な動物検疫受検体制の維持に努めた。

イ 家畜輸入の状況

2021年度16,254頭（89%、%表記は対前年比）とかなり減少した。

畜種別及び用途別では、馬3,214頭（103%）うち軽種馬（繁殖）180頭（122%）、軽種馬（競走）135頭（94%）、乗用馬178頭（152%）、肥育用素馬2,718頭（101%）、その他の馬（馬搬用）3頭、牛11,964頭（88%）うち肥育用素牛11,277頭（83%）、その他の牛（乳用牛）687頭、豚1,057頭（69%）、緬山羊は緬羊19頭（83%）であった。

ウ 監視伝染病の摘発状況

2021年度中の輸入検疫において監視伝染病に感染もしくはその疑いありと診断された疾病は、家畜伝染病ではヨーネ病（素牛）、届出伝染病では馬インフルエンザ（素馬）であった。

エ 家畜輸入をめぐる課題・話題

① BSE発生国からの生体牛等の輸入停止措置

輸入停止措置によりオーストラリア、ニュージーランドからの輸入に限定。

② 輸入家畜の損耗防止への取り組み

係留施設等での暑熱による家畜損耗防止の観点から動物検疫所と意見交換を継続している。

③ 動物検疫所の施設整備

施設整備に伴う収容計画への影響を最小限とするため動物検疫所と情報共有に努めるとともに、会員への事前周知と協力依頼を実施している。

④ 動物検疫所による水際検疫の強化

検疫探知犬増頭、関係機関連携による検査体制の強化が図られている。

PCR検査法の追加とリスク評価に基づく合理的な検査が実施されている。

3. 会議等の開催状況

(1) 総会

次のとおり総会を開催し、原案について審議、承認、議決した。

開催日及び場所	議 決 事 項
第31回定時総会 2021年5月21日 一般社団法人 日本家畜輸出入協議会	第1号議案 2020年度事業報告及び決算に関する件（報告・承認） 第2号議案 2020年度公益目的支出計画実施報告書に関する件（報告） 第3号議案 2021年度事業計画書及び収支予算書に関する件（報告）

(2) 理事会

次のとおり理事会を開催し、協議会の業務運営に関する議案について審議、議決した。

開催日及び場所	審 議 ・ 議 決 事 項
第1回理事会 2021年4月20日 協議会会議室	第1号議案 第31回定時総会の開催に関する件 第2号議案 2020年度事業報告、収支決算報告及び監査報告 第3号議案 2020年度公益目的支出計画実施報告及び監査報告 第4号議案 協議会運営事項
第2回理事会 2021年9月14日 協議会会議室	第1号議案 2022年度輸入家畜収容計画策定基本方針に関する件 第2号議案 報告・連絡事項
第3回理事会 2021年11月16日 協議会会議室	第1号議案 2021年度上半期決算報告 第2号議案 2022年度輸入家畜収容計画 第3号議案 その他の報告・連絡事項
第4回理事会 2022年3月15日 協議会会議室	第1号議案 2021年度家畜輸入状況報告 第2号議案 2022年度輸入家畜収容計画報告 第3号議案 2021年度収支決算見通し報告 第4号議案 2022年度事業計画書及び収支予算書の承認 第5号議案 就業規則等の改正について 第6号議案 報告・連絡事項

(3) 畜種別部会

次のとおり、協議会部会組織運営規程に基づく畜種別部会を開催し、家畜輸入に関する輸送計画、輸入希望頭数の調整を含む会員の家畜輸入年度計画の策定のほか、動物検疫所との情報交換を行い、家畜輸出入の円滑な実施を図るとともに、動物検疫所の係留施設の効率的運用に努めた。

開催日及び場所	会 議 内 容
牛部会 2021年12月8日 協議会会議室	議 題 1. 2022年度輸入家畜収容計画 2. 2022年度に向けた希望調査 3. その他
素馬部会 2021年12月10日 協議会会議室	議 題 1. 2022年度輸入家畜収容計画 2. 2022年度に向けた希望調査 3. その他

協議会定款第32条に基づく畜種別部会
(2021年度)

2022年3月末日

部会名	部会長	副部会長	部会員
馬	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組、全農畜産サービス(株)、(株)エバーユニオン商会 関東馬匹運輸(有)、グリーンヒルズ(株)、(株)スパイクス 大西洋貿易(株)、(有)T&Tコーポレーション ナーヴィックインターナショナルインク日本事務所 ナル・トレーディング(株)、(有)ブルーグラスインターナショナル 11社
牛	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株)、(株)野澤組、兼松(株)、スターゼン(株) (株)ゼン・トレーディング、双日食料(株)、ティーエムシー(株) (株)ナスアグリサービス、(株)藤井商店、マルハニチロ(株) (有)瑞穂農場、三井物産(株) 12社
豚	プライフーズ(株) 高畑 隆	イワタニ・ケンボロー(株) 菊池 将仁	プライフーズ(株)、イワタニ・ケンボロー(株)、伊藤忠商事(株) (有)萱農場、(株)シムコ、ジャパンフード(株)、全農畜産サービス(株) 双日食料(株)、(株)ナスアグリサービス、(株)野澤組 ピクアジェネティクス(株)、日の出物産(株)、マルハニチロ(株) 13社
素牛	双日食料(株) 森谷 秀範	マルハニチロ(株) 時津 亮介	双日食料(株)、マルハニチロ(株)、伊藤忠商事(株)、兼松(株) ジャパンフード(株)、スターゼン(株)、全農畜産サービス(株) (有)大平物産、ティーエムシー(株)、日鉄物産(株)、(株)ヒョウチク 丸紅(株)、(有)瑞穂農場、三井物産(株)、(有)南牧場 15社
と牛	兼松(株) 杉原 亮	丸紅(株) 白石 真也	兼松(株)、丸紅(株)、スターゼン(株)、双日食料(株) ティーエムシー(株)、(株)ヒョウチク 6社
素馬	丸紅(株) 白石 真也	ジャパンフード(株) 富山 修	丸紅(株)、ジャパンフード(株)、(有)小田桐産業、(株)菅乃屋ミート 全農畜産サービス(株)、双日食料(株)、大西洋貿易(株) ティーエムシー(株)、(株)フジチク、(有)貿易振興サービス Bostonトレーディング(株)、三井物産(株) 12社

(注) 部会員の表記順は、正・副部会長に続いて50音順

(4) 家畜輸出入に関するセミナー

会員への畜産及び家畜衛生・公衆衛生に対する知識の向上と家畜輸出入の円滑化を図るとともに、会員以外にも普及啓発に努めるため毎年開催し、その内容はセミナー資料として配布するとともに、その概要を協議会 Web サイトで公開しているが、本年度は新型コロナウイルス感染症蔓延下につき、開催を中止した。

4. その他の主な事業等

(1) 家畜輸出入に関する情報の収集と周知等

2021 年度に農林水産省関係部局、動物検疫所等から発出された通知・連絡のうち、家畜の輸出入に関連するものを会員に周知するとともに、国内外での家畜の伝染性疾病発生状況及び関連情報についても、必要に応じて会員へ提供した。

(2) 動物検疫所等との意見交換、要望等

動物検疫所と家畜の飼養管理・検査時の事故防止（安全対策）に係る意見交換、関係部会への周知並びに家畜の需給動向、輸出国での取扱状況（検査及びワクチン接種状況、隔離状況等）等についての情報の提供、意見交換を行った。

(3) 輸入牛の耳標手配請求・管理報告

牛トレーサビリティ法に基づく輸入牛の耳標の取扱いのうち、オーストラリアでの装着耳標については、(独)家畜改良センター個体識別部への発注手配と管理報告に関与しているほか、随時、連絡調整を実施した。

(4) 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）の利用推進

輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）での動物輸入の事前届出促進のため、メールでの事前届出案内を会員に行い期限厳守を要請した。

(5) Web サイト利用に係る利便性の維持

Web サイト「JLTA On-Line」上にて家畜輸出入に係る家畜衛生条件の公開、検疫手続に要する各種様式の提供、輸入頭数速報等の情報提供を実施しており、2021 年度も家畜衛生条件の締結・改正に伴う最新情報への更新を行った。

(6) 動物検疫所の畜霊祭行事への参加

動物検疫所各係留施設では、輸入検疫の結果、家畜の伝染性疾病に罹患もしくは罹患のおそれがあるとして淘汰された家畜並びに輸送・係留中の事故等で死亡した動物の霊を慰めるために畜霊祭が開催されていることから、2021 年度は 1 施設での本行事に参列した。

5. 2021年度に発出された家畜の輸出入関連通知

(2021年4月1日～2022年3月31日接受分、元号表記年月日は官庁文書日付)

- (1) 令和 3年 4月 9日 - 3動検 第 38号 農林水産省 動物検疫所長
件名 我が国から香港向けに永久的に輸出される馬に添付される証明書様式について
- (2) 令和 3年 4月 15日 - 3動検 第 62号 農林水産省 動物検疫所長
件名 ニュージーランドから日本向けに輸出される馬の家畜衛生条件の改正について
- (3) 令和 3年 4月 15日 - 3動検 第 63号 農林水産省 動物検疫所長
件名 ニュージーランドから日本向けに輸出される国際交流競走出走馬の家畜衛生条件の改正について
- (4) 令和 3年 4月 15日 - 3動検 第 一号 農林水産省 動物検疫所長
件名 豪州経由でニュージーランドから日本向けに輸出される馬の輸入検疫証明書の発行の一時停止措置解除について
- (5) 令和 3年 6月 17日 - 3動検 第 315号 農林水産省 動物検疫所長
件名 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における馬術競技に参加するためオランダから日本向けに輸出される馬に添付される証明書様式について
- (6) 令和 3年 7月 8日 - 3消安 第 2187号 農林水産省 消費・安全局
動物衛生課長
件名 拡大豚熱疫学調査チームの提言を踏まえた飼養衛生管理指導の徹底について
- (7) 令和 3年 10月 25日 - 3動検 第 726号 農林水産省 動物検疫所長
件名 フランスから日本向けに輸出される豚の家畜衛生条件の改正について
- (8) 令和 4年 3月 30日 - 3動検 第 1282号 農林水産省 動物検疫所長
件名 国際交流競走出走馬の輸入検疫要領の改正について
- (9) 令和 4年 3月 31日 - 3動検 第 1292号 農林水産省 動物検疫所長
件名 「海外遠征馬の帰国時における輸入検疫及び着地検査について」の一部改正について
について

6. 顧問弁護士及び税理士の委嘱

下記の顧問弁護士及び顧問税理士の指導のもと、一般社団法人業務の公正・的確な運営と経理事務の適正な処理を行った。

区分	氏名	住所
弁護士	谷 真人	東京都千代田区有楽町1-6-4 日比谷見附法律事務所
税理士	松下 敬三	東京都中央区日本橋大伝馬町2-1-4 松下会計事務所